

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立鴨沂高等学校 】

1 実践テーマ	【 II・IV 】
2 実施対象者	京都府立鴨沂高等学校 第3学年3組「京都文化コース」クラス 生徒35名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 京都文化の発信 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	姉妹提携校である「ジュールゲード国際高校」との文化交流（文化発信・文化体験・ホームステイ等）を通して、国際感覚を磨き、コミュニケーション能力を高め、両校の絆を深めるとともに、「オリンピック・パラリンピック」に向けた、より良い「国際交流の在り方」や「文化発信の在り方」、「ホスピタリティ（おもてなし）の在り方」等についての提言をする。
5 取組内容	(1) ガイダンス ※以下、ワークショップを「WS」と表記。 ① ガイダンスー目的及び年間授業計画についての概説。 ② 概要 ア 前期ー国際文化交流について。 イ 中期ージュールゲード国際高校おもてなし（交流体験） ウ 後期ー成果物作成（①研究論文、②京都アルバム） (2) 「昨年度のジュールゲード国際高校との交流から学ぶ」 ① 講義ー平成28年度に京都文化コース生徒が取り組んだ、ジュールゲード国際高校との京都文化発信に関わるメール交流資料から、日仏の文化について学ぶ。 ② WSー①自分の周りの文化の紹介。②京都文化の発信。 (3) 「世界に発信できる日本や京都の素晴らしい文化とは何か？」 ① 講義・視聴ー「クールジャパン」について考える。 ② WSー「フランス」との国際交流に向けて、京都や日本の文化で発信すべきものはないかグループで考える。 (4) 「ジュールゲード国際高校との交流に向けたガイダンス」 講師：ジュールゲード国際高校教員 寺田 真紀 氏 ① 講義ーフランス文化、ジュールゲード高校等の紹介。 ② WS iー文化摩擦について考える。自文化と異文化。 ③ WS iiーフランス語入門。 ④ WS iiiーフランス式挨拶入門。



(5)「同志社大学フランス人留学生との交流Ⅰ（発表・交流）」

講師：同志社大学准教授 木谷 真紀子 氏

同志社大学フランス留学生 3名

- ① 事前学習—文化発信について。文化交流について。
- ② 講義（木谷氏）
 - ア 「実はこれもフランス語」
 - イ 「フランス語の挨拶のクイズ」
- ③ フランス文化紹介（フランス留学生2名）
 - ア 「フランスのイメージと実態」（エレアさん）
 - イ 「フランスの年中行事」（ヴァランティエヌさん）
 - ウ 「フランス文学の朗読」（留学生2名）
- ④ 高校文化コース生徒によるショートスピーチ
- ⑤ WS—グループごとに留学生とのワークショップ。



(6)「同志社大学フランス人留学生との交流Ⅱ（和食調理実習）」

- ① 事前学習—留学生に紹介できるよう「七夕」、「七夕料理」、「伝統食」、「行事と京料理」について学ぶ。
- ② 和食調理実習—七夕にちなんだ和食「ちらし寿司」「そうめんのおすまし」の調理実習。
- ③ まとめ—留学生との交流Ⅰ・Ⅱの成果と課題をまとめ、本年度10月に来校する姉妹校フランス、ジュールグード国際高校との交流プログラムに活かす。



(7)「ジュールグード国際高校との交流（文化発信・文化体験）」

- ① 事前学習—7グループ、各テーマに沿った文化発信発表。
選考を経てたグループが来校当日に発表する。
- ② 「テーマ」・概要（7グループ）・発表3グループ（☆）
 - ア 「スイーツ」☆
フランスとの違いからみてわかる日本の特徴。
日本のお勧め。フランスに行った日本のお店。
 - イ 「年間行事」、お祭り、風習
文化の違い（日仏のクリスマスと新年の過ごし方）
 - ウ 「言語、方言、慣用句」☆
早口言葉、文法、言語方言、ことわざ、慣用句、国民性、社会性の違い。
 - エ 「遺跡、遺産」
金閣寺、龍安寺、伏見稲荷大社、平等院、銀閣寺、哲学の道、疎水、南禅寺、平安神宮、八坂神社、建仁寺。
 - オ 「芸術作品」☆
日仏の映画、マンガ、アニメ（実写化、シリーズもの）

	カ 「通貨・経済」 フランスと日本の通貨のデザインとその理由。 キ 「パン」 フランスと日本のパンの違い。食文化の違い。パンに対する情熱（特徴、代表、違い、歴史） (8)「ジュールグード国際高校生来校、グループ発表」 ① スピーチー京都文化コース生徒によるスピーチ ② 文化発信グループ発表（英語及び日本語） ア 「スイーツ」 イ 「言語、方言、慣用句」 ウ 「芸術作品」  (9)「ジュールグード国際高校生来校、文化交流・文化体験」 ① 部活動体験（合唱部、茶道部、弓道部、書道部） ② 和食調理実習（日本料理アカデミー講師（熊彦・平八）指導） ③ 京都観光案内（金閣寺、竜安寺、伏見稲荷大社。）         (10) 京都文化発信成果物作成（個人研究） ① 研究論文（個人テーマ、英語サマリー等。） 京都文化に関わる個別テーマに基づいた小論文。 ② 京都点景アルバム（テーマ：「私の好きな場所」） 自ら撮影した身近な京都の点景にコメントや解説を入れた小アルバムを作成し、文化発信に活用する。
6 主な成果	・文化の祭典でもあるオリパラに向けて、京都文化発信や京都文化交流に関わるプログラムや成果物を提言することができた。 ・姉妹校との交流を通して、両校及び日仏間の文化交流を進めるとともに絆を深めることができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・学校設定科目・特別コース授業を通じた文化発信に関わる取組。 ・フランス姉妹校との持続的で一貫した国際文化交流プログラム。 ・同志社大学留学生など、地域の大学等諸機関との連携。
8 主な課題等	・取組の成果の共有化に向けた、発信や提言の為の外部との連携。 ・実施にあたる校内指導体制作り、活用事業等予算面などの活用。
9 来年度以降の実施予定	・授業や学校行事等を通して、姉妹校との文化交流を実施する。 ・鴨沂高校生徒が、姉妹校（フランス・モンペリエ市）を訪問し、交流（発表、ホームステイ、交流、現地企業訪問、FW）を実施する。